

PPSA-JC NEWS LETTER

Pan-pacific Surgical Association-Japan Chapter(PPSA-JC)

第32回大会 ホノルル・ハワイで開催
会期 2015. 9.19～2015. 9. 21
会長 鈴鹿有子 教授



Yuko Suzuka, Congress Chair

平成27年9月19日(土)～9月21日(月)にホノルルのロイヤルハワイアンにて第32回環太平洋外科系学会日本支部会学術大会(PPSA-JC)を開催する運びとなりました。担当は金沢医科大学耳鼻咽喉科教室です。

会場のロイヤルハワイアンは“太平洋のピンクパレス”といわれるピンク色に統一されたホテル

で、約90年の歴史があり、航空機時代以前の貴族たちは長い航路の末にたどり着きました。そのため高級な部屋ほど中庭向きで海の見える窓はありません。

会議、学術講演、ポスターセッションはすべて1階の Regency room で行われます。9月19日に board meeting があり、学術大会に先がけてオープニングの welcome party はガーデンパーティーの予定です。ワイキキビーチのサンセット時に開催します。

2日目、9月20日は8:00～ Educational Lecture、8:40～シンポジウムⅠ“耳科手術・鼻科手術”、10:00～シンポジウムⅡ“頭頸部・外科手術”と続きます。午後からは学会主催の Golf Competition が Kapolei G.C.で開かれます。



The Royal Hawaiian

3日目、9月21日は8:00～ Special Lecture から始まります。講師は Tai J. Yoo 先生で免疫学者です。自己免疫性の難聴の研究を介して耳鼻咽喉科とつながりがあり、30年来の友人です。

現在ホノルル在住ということで、講演をお願いしました。タイトルはアンチエイジングに対する幹細胞治療です。8:40～シンポジウムⅢ“若手の教育”ではヤングとベテランでそれぞれ外科教育についてディスカッションします。10:00～ポスターセッションが始まります。4群に分けられ、同時に開始します。午後3:00



Regency room



Waikiki, Hawaii

～はワイキキの Fun run & walk が予定されています。スピードを競うのではなく、5キロを楽しく走りまた歩くという企画です。夜は Hyatt Regency ホテル Na Lea テラスでフェアウェルパーティーを予定しています。ハワイアンを聞きながら、プロのダンサーによるフラダンス、またフラの指導もしていただきます。さらに恒例の Wada award のセレモニーをします。心臓移植手術の第一人者であられ、当学会の創始者、和田壽郎先生を偲ぶとともに、優秀なプレゼンターには和田周子様からメモリアルな賞を授与していただきます。ゴルフの成績、Fun run の結果などを公表し、表彰を考えています。

9月19日から5連休“シルバーウィーク”が始まります。それに学会を重ねて勤務のロスをなくそうとしまし

たが、かえってたいへんなチケット不足や価格の高騰に巻き込まれ、会長に指名された2年前には予想しなかった事態になりまして参加される皆様には誠に申し訳ありませんでした。しかし100名を超えるエントリーがあり、今はただ学会の無事開催を祈るのみです。記憶に残る楽しい、実のある学会にしたいと思います。さらに来年の第33回PPSA-JCにうまく繋

がる学会にするよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第32回環太平洋外科系学会日本支部会学術大会
会長 鈴鹿有子

(金沢医科大学耳鼻咽喉科学教室 教授)

第31回PPSA-JCを開催して 第31回会長 松田剛明 教授

皆様には、第31回環太平洋外科系学会日本支部会学術集会(PPSA-JC)に多数のご参加をいただき、盛会理に会が終了したことに改めて御礼申し上げます。今回は、平成26年10月31日に懇親会であるwelcome partyから始まり、本会である11月1日、2日の合計3日間、台湾の首都台北にて学会を開催致しました。日本から飛行機で3時間強の近距離にあるということと、私の大学院時代の同僚である国立台湾大学外科教授の林明燦(Lin, Ming-Tsan)先生が、本会をご支援くださるとのことから、台北での開催となりました。



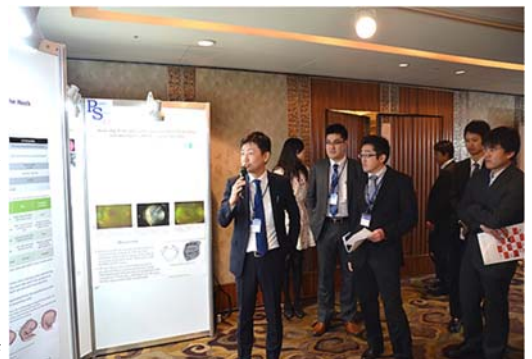
パーティで挨拶されるLin教授と松田会長

開催前日の10月31日の夕方から、台北の中心地にある超高層ビルTaipei 101にてwelcome partyが開催され、最上階の宴会場には本会参加者以外に、国立台湾大学関係者も多く参加されました。私と林先生の挨拶に続き、招待演者の先生方のご紹介を行いました。その後は美味しい料理と生バンド演奏の中、終始和やかな雰囲気ですべて進みました。

学会初日の11月1日は、冒頭に私の「専門科を越えた熱心なディスカッションを！」との挨拶から始まりました。若手の発表者が質問に対し返答に苦慮する場面もありましたが、英語で相手に分かりやすく考えを伝えるという基本姿勢と、質問の内容こそがディスカッションに生きるのである、というメッセージが伝

わったと感じております。熱の入った質疑応答が各発表でなされたため、時が経つのも忘れ時間を超過して初日の会は終了となりました。パーティでも申し上げましたが、私自身はそのことに大変満足しております。

Symposium (Minimally Invasive and Robotic Surgery)では、日本と台湾からのロボット支援手術の発表がなされました。胃癌に関し藤田保健衛生大学の石田先生、直腸癌に関し東京大学の須並先生、国立台湾大学からはWu先生の肝臓手術、Chen先生の呼吸器手術の発表がありました。Special Lectureでは、林教授から胃癌に対するロボット支援手術のご発表を頂きました。また、Educational Lectureとして、杏林大学救急医学教室の樽井先生による“Emergency Medicine in Japan”を、更には内科系の先生方からもご講演を頂きました。いずれも素晴らしいご発表であり、若手外科系医師達の知見を増す内容でありました。先生方に感謝申し上げます。



ポスター会場の様子



獅子舞

その後のDinner partyは、国立台湾大学の皆さんと大変華やかな合同パーティとなりました。まず会に先立ち、台湾で活躍されている草山楽坊カルテットがBGMを披露してくれました。開会の辞では私、林先生の挨拶に続き、甲能直幸PPSA-JC理事長より乾杯のご発声をいただきました。歓談の後、日本側・台湾側からエンターテインメントの出し合いとなりました。日本側からは、学会運営を行ってくれたアクティビューローの足立さんが空手の演武を披露しました。板割りのパフォーマンスは圧巻で、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。更に、杏林大学顎口腔科の池田先生によるバックダンサーを従えた歌とギターの弾き語りでは、台湾の皆さんから大きな反響と拍手が沸き起こりました。対する台湾側からは、女性外科医が歌を歌ってくれましたが、皆、プロ顔負けの歌声に酔いしれ、2匹の大きな赤い獅子舞が登場した頃には双方の関係者共、更に親睦が深まり、大変盛会理に終了いたしました。

最終日にはOral sessionが行われ、会の終焉では、次期会長の鈴鹿教授によるSpecial Lecture “Development of hearing devices”をご講演頂きました。その後、本31回学術大会から初めて行われることとなりました“Wada Award”の受賞式が行われました。この賞は若手の優秀発表者に送られる賞であり、抄録内容・発表スライド・質疑の対応など5つの項目につき評議員の先生方に厳正に審査していただきました。その結果、今回は5名が受賞され、和田周子夫人から表彰状と金一封が授与されました。



松田会長、和田周子夫人とWada Award 受賞者

(下記 受賞者一覧)

Oral session:

Dr. Maki Takahashi, Dept. of Anesthesiology, Tokai University.

Dr. Ryuichi Sekine, Dept. of Gastroenterological Surgery, Showa University Fujigaoka Hospital.

Dr. Tomohiro Shiraishi, Dept. of Plastic and Reconstructive Surgery, Kyorin University.

Poster session:

Dr. Mai Arai, Dept. of Emergency Medicine, Kyorin University

Dr. Mariko Kochi, Dept. of Plastic and Reconstructive Surgery, Showa University.



会終了後、松田会長を囲んで記念撮影

今回は、シンポジウムが1つ、レクチャーが4つ、oral sessionが36題、poster sessionが11題、の合計55演題と多くの演題が集まりました。日本では医学会のみならず、学術においても国際化が叫ばれて久しいですが、今回の様に若手医師たちが他国の医師たちとの交流を深め、学術集会での経験を積み上げることは、本会の趣旨である若手外科系医師の国際学会への登竜門として大変重要であると考えます。これからも若手医師たちの未来の道筋を担う上で、本会が更に発展されるよう心より祈念しております。この度は、誠にありがとうございました。

学校法人杏林学園 副理事長
杏林大学医学部救急医学教室 教授
松田 剛明

PPSA-JC 歴代理事長

名誉理事長 (1983～1997)	和田壽郎	
名誉理事長 (1998～2008)	草野満夫	静和記念病院 院長
理事長 (2009～)	甲能直幸	立正佼成会附属佼成病院 院長 杏林大学 耳鼻咽喉科・頭頸科 特任教授

学術大会開催歴

回	開催年	開催地	会長	所属施設
32	2015	Honolulu	Yuko SUZUKA	Kanazawa Medical University, Department of Otolaryngology
31	2014	Taipei	Takeaki MATSUDA	Kyorin University, Department of Emergency Medicine
30	2013	Honolulu	Kazuyuki SERADA	Showa University Yokohama Northern Hospital, Anesthesiology
29	2013	Honolulu	Yoshio OGAWA	Showa University, Department of Urology
28	2011	Bangkok	Masanori SUGIYAMA	Kyorin University, Surgery
27	2010	Honolulu	Toshiyasu SUZUKI	Tokai University, Anesthesiology
26	2009	Hongkong	Hiroya KITANO	Tottori University, Otolaryngology, Head and Neck Surgery
25	2008	Bangkok	Tetsuo Hida	Kyorin University, Ophthalmology
24	2007	Honolulu	Atsushi SHINKAWA	Shinkawa Medical Group, Otolaryngology
23	2006	Bangkok	Naoyuki KOHNO	Kyorin University, Otolaryngology, Head and Neck Surgery
22	2005	Noumea	Koshi SATO	Kitasato University, Surgery
21	2004	Cairnes	Takeshi KAWASE	Keio University, Neurosurgery
20	2003	Guam	Yasufumi ASAI	Sapporo Medical University, Traumatology & CCM
19	2002	Honolulu	Hideki YOSHIDA	Showa University, of Urology
18	2001	Taipei	Koichi TOMODA	Kanazawa Medical University, Otolaryngology
17	2000	Bali	Akira KAKITA	Kitasato University, Surgery
16	1999	Tianjin	Yasuhiro FUJIWARA	Kousei General Hospital, Surgery
15	1998	Saipan	Mitsuo KUSANO	Showa University, Surgery
14	1997	Tokyo	Hirosato KIKUCHI	Toho University, Anesthesiology
13	1996	Chejudo	Toshio YAMASHITA	Kansai Medical University, Otolaryngology
12	1995	Guam	Masamitsu KANEKO	Sapporo Medical University, Traumatology & CCM
11	1994	Okinawa	Koshiro HIOKI	Kansai Medical University, Surgery
10	1993	Tokyo	Mitsuo MOTEGI	Toho University, Orthopedic Surgery
9	1992	Guam	Hiroshi TAZAKI	Keio University, Urology
8	1991	Tokyo	Shigeko YOSHIDA	Tokyo Women's Medical University, Obstetrics & Gynecology
7	1990	Tokyo	Shozo NAKAZAWA	Nippon Medical School, Neurosurgery
6	1989	Honolulu	Takeshi HIRAYAMA	Tokyo Women's Medical University, Plastic Surgery
5	1988	Tokyo	Hiroharu MATSUDA	Kyorin University, Surgery
4	1987	Tokyo	Yoshio KUROSU	Toho University, Anesthesiology
3	1986	Tokyo	Juro WADA	Tokyo Women's Medical University, Thoracic and Cardiovascular Surgery
2	1985	Tokyo	Juro WADA	Tokyo Women's Medical University, Thoracic and Cardiovascular Surgery
1	1984	Tokyo	Juro WADA	Tokyo Women's Medical University, Thoracic and Cardiovascular Surgery

平成27年度PPSA-JC役員会議

平成27年6月29日に平成27年度PPSA-JC役員会議が行われました。
話し合われた内容は以下のとおりです。

- 1 平成26年度会計報告
繰越金の使用、学会の援助、会費に関して
- 2 第31回PPSA-JC(台北)会長 杏林大学医学部救急医学科 松田剛明教授
学会の参加者数、演題数等について
- 3 第32回PPSA-JC(ホノルル)会長 金沢医科大学耳鼻咽喉科 鈴鹿有子教授
学会の詳細な予定について
- 4 第33回PPSA-JC会長 昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科 田中淳一教授
来年に向けての抱負
- 5 第34回PPSA-JC会長は立正佼成会附属佼成病院 外科 柳田修先生に決定

※議事録は学会ホームページにも掲載しております。詳細はこちらをご覧ください。
(学会HP/<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/medicine/ppsjc27/>)

年会費納入のお願い

今後も学会の更なる発展、運営・維持のため会費納入
へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

《会費》 施設会員／20,000円
個人会員／ 5,000円

《会費振込先》 ゆうちょ銀行

【ゆうちょ銀行からお振込の場合】

- 口座記号番号： 00180-7-267295
- 口座名称： 環太平洋外科系学会日本支部会

【他銀行からお振込の場合】

- ◆店名(店番)： 019
- ◆預金種目： 当座
- ◆口座番号： 0267295
- ◆口座名義： 環太平洋外科系学会日本支部会

《 事務局よりお知らせ 》

- ・ PPSA-JC事務局代表を、佐藤大先生から齋藤康一郎先生に交代致しました。
- ・ 役員名簿を更新致しました。詳しくは学会ホームページをご覧ください。



PPSA-JC News Letter -第16号-
編集・発行／環太平洋外科系学会日本支部会
2015年9月

事務局:杏林大学耳鼻咽喉科頭頸科学教室
連絡先:立正佼成会附属佼成病院 秘書室
〒166-0012 東京都杉並区和田2-25-1
TEL:03-3383-1281/FAX:03-3382-8972
E-mail:kyorin-ent@ks.kyorin-u.ac.jp
日本支部会事務局 代表 齋藤 康一郎

《 学会HP 》

<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/medicine/ppsajc27/>